



▲ 発射台に設置されている S-520-31 号機

観測ロケット「S-520-31」号機は、メタンと酸素を混合したガスを燃焼した時に生まれる衝撃波を利用する新型エンジンを宇宙空間で実証実験を行うために打ち上げられました。

この研究の宇宙での実証実験は前例がなく、S-520-31号機は、この実験を成功させた世界初の観測ロケットとなりました。

今後、新型エンジンが実用化され、ここ内之浦宇宙空間観測所からの打ち上げが期待されます。

S-520-31号機 打ち上げ成功



7月27日午前5時30分に観測ロケット「S-520-31」号機が内之浦宇宙空間観測所より打ち上げられました。
最高到達高度は235km、打ち上げてから7分56秒後に内之浦南東の太平洋沖に落下しました。
見学場のIHIエアロスペースには、371人の観覧者が訪れ、ロケットの打ち上げを見守りました。



今回の観測ロケットは、台風による風と波で思わぬ長期の延長となりましたが、皆様方の暖かいご支援のおかげで、世界初の実験装置を載せたロケットの打ち上げを成功裏に終えることができました。ありがとうございます。この後は、9機の人工衛星を載せたイプシロンロケットト5号機の打ち上げが控えています。引き続き応援をよろしくお願いいたします。

内之浦宇宙空間観測所 所長
峯杉 賢治



△ 空高く上がるロケットを目で追う人たち